

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和5年7月21日(金) NO11 文責 ^{きした}木下 ^{ふみあき}文秋

朝の登校指導に思うこと

毎朝、生徒指導主事の泥谷先生と校門前で登校指導をしています。駅伝部や陸上部の生徒も頑張ってくれています。前任校でも同じように玄関前や靴箱前で登校指導をしてきました。これを行うことで年間で結構な生徒の顔を覚えます。春夏秋冬折々の季節があり、じりじりと暑い日差しの下で、汗をかきながらだったり、冬場はガタガタ震えながらだったりしますが、それはそれで楽しいです。毎朝のことなので、殆ど同じ生徒が同じ時間に通過していきます。時々、時間が遅かったりすると「何かあったの？」と声かけたり、いつも二人で来るのに一人だったりすると「もう一人は休み？」と聞いたりします。また、面白いことに、特に一年生に多いのですが靴を間違えてスニーカーを履いてくる子や、スカートを忘れてくる子もいたりします。また、自転車小屋からヘルメットのまま靴箱に向かう生徒もいて思わず声をかけることもありました。今は、マスク姿で汗まみれで登校する生徒が多くて気になります。それでも頑張って徒歩や自転車で通学する生徒を見て頼もしく思いますし、家でもそれぞれドラマがあるのだろうと推測します。ご両親もお仕事で朝は相当バタついているでしょう。お子様も小学生と中学生だったりすると、朝はまるで戦場のように競って家を出てくるのではないのでしょうか。朝から口げんかをしたり、怒られたりしながら家を出てくるのかなと思います。そんな朝を終えて学校に登校してきて、一日を生活する生徒は偉いと思います。ところで年度初め「ウザイ、キモイ、消えろ、死ね、おかつく」という人をダメにするコトバを排除しようと生徒に話をしました。皆さんどうでしょうか。相変わらず人の言葉で心を痛める生徒の話を耳にします。1学期で人は変わることができたでしょうか。これができたらすごい学校になるんだけど…と思ってます。今学期私が印象に残ることに、学年集会があります。各学年が定期的に集会を組んでくれました。300名ほどの生徒と職員が一堂に集まり、人の話を静かに聞く時間はとても貴重です。今日は終業式でした。学校を離れて自宅で過ごす時間が増えます。海や河川での事故に十分注意すること。そしてSNSに関わるトラブルに巻き込まれないこと。皆さんにとって充実した夏休みになることを期待しています。